



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治版



松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

福田首相、突然の辞任表明。自民党総裁選へ！

「麻生首相」を実現させ、「活力のある日本」を

福田康夫首相が9月1日、辞任する意向を明らかにしました。確かに突然の辞任表明ではありませんでしたが、記者会見で「国会の実質審議入りには時間があるこのタイミングを狙い、国民にも迷惑がかからないように考えた」とおっしゃったように、熟慮の末の決断だったと思います。とは言え国民の皆様には大きな迷惑をかけた事は事実ですので、自民党議員の一人として、深くお詫びします。

自民党はこれを受けて、9月22日投票という総裁選の日程を決めました。総裁選を経て新総裁が選出され、国会での新首相指名。さらにその後、解散 - 総選挙となるのかどうかは予断を許しません。政局が激動の局面に入ったのは事実です。

今回の総裁選は、年金問題や長寿医療制度（後期高齢者医療制度）、さらにガソリンをはじめとする諸物価高騰などで揺らいだ自民党に対する皆さんの信頼を回復するか、それとも決定的に信頼を失うかのぎりぎりの瀬戸際に立たされた総裁選だと思います。

総裁選にはいち早く、麻生太郎幹事長が出馬の意向を表明しました。麻生さんは、8月の内閣改造・自民党役員人事で、福田首相の強い要請で幹事長のポストに就いたので、これは自然な流れだと思います。また福田首相と争った先の総裁選では、福田首相の330票には及ばなかったものの、麻生さんは197票を獲得したという実績もあります。

麻生さんのほかにも、複数の出馬の動きがあります。私は今、自民党が皆さんの信頼を取り戻すためには、開かれた総裁選を行い、候補者同士が正々堂々の政策論争を展開することが、何よりも大切だと考えます。福田首相が残した「国民目線の政治」をどう実現していくか、それには誰が一番ふさわしいのか、をめぐる論戦です。

私は8月の内閣改造・自民党役員人事で、麻生さんを補佐する副幹事長に留任しましたが、麻生さんを支えることが、今わが国が抱える諸問題を解決することに通じると確信しています。

今回の総裁選でも、麻生さんが掲げる「活力のある日本」「生活者重視の政治」を強く訴え、「麻生首相」の実現に全力を尽くします。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

平成20年9月2日 衆議院議員 松本 純